



まつお あやか
2年 | 松尾 彩香さん [鳥取県立鳥取西高等学校 出身]

■ 夢に向かってAOでチャンスをプラス

小さい頃、幼稚園になかなか馴染めなかった私。そんな自分に優しく寄り添ってくれた先生に憧れて、幼稚園教諭になりたいと思うように。中学校は鳥大附属校だったので鳥大の魅力は誰よりも知っていたし、地元で学びたいという思いが強く、高校入学当初から進学先は鳥大地域教育学科と決めていました。AO入試があることを知り、1回でも多くチャンスが欲しいと担任の先生に相談すると、「倍率は高いけど、不合格前提で頑張ってください！」と背中を押してくれたんです。

願書は罫線も何もない白紙の用紙だったのでビックリ。ミリ単位で間隔を測り、罫線を引いて下書き。ボールペンに慣れていなくて清書も緊張しました。

■ 2次のポイントは読解力&まとめる力

小論文では、提示された課題文が長くて趣旨を読み取るのに苦労。線を引いたり書き込みをしたり、文章を読みながら頭の中で考えをまとめないと時間が足りません。普段から本や新聞を読むことを習慣付けて「読み取る力」を養っておくべきだと感じました。グループディスカッションは、進行役、書記、タイムキーパーを受験生で決めましたが、苦手な人は無理する必要はなし。立候補して好印象を与えようとしても、きちんとこなせなければ逆効果。私たちは意見を時間内にまとめることができず、10分延長してもらいました。時間を逆算して、自分の発言、全体の意見をまとめることに集中することが必勝のコツです。

■ 平成28年度AO入試で求める人物像

募集人員(予定)：4人

【趣旨】学習科学、発達科学、家族支援、教育福祉に関する理論的で実践的な学習を通じて、人間性に対する理解と信頼を培い、地域の教育問題の解決を図り、豊かな生涯発達を支援する力量を備えた地域のキーパーソンの育成をめざしています。このため、従来の学力試験による選抜方法と異なり、能力、適性、意欲、関心などを多角的に総合評価するAO入試を実施します。

次のいずれかに該当する意欲ある人を求めます。

- 教育、保育、心理、教育福祉に高い関心をもち、自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人
- 地域に住む人々の学習と発達、心身の自立に関わる仕事を強く望む人



旬の果物・魚介がサイコー!

甘くてみずみずしい二十世紀梨&大栄スイカ、冬の味覚の王様・松葉ガニ等々、鳥取は美味しいものがいっぱい! 食が充実しているのは、田舎暮らしが一番幸せを感じる場所ですね。

平成27年度AO入試 第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成27年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成28年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して求める力

地域教育のキーパーソンをめざすために必要な、確かな基礎学力、柔軟で創造的な思考力と表現力、他者と共働して問題解決する力のある人を求めます。

小論文	教育観に関する英文資料(A4版で1枚)および日本文資料(A4版で1枚半)を読み、120分で設問(4問)に解答するものでした。設問は、その内容について問うものが2問(120字以内)、図も併記させて解答するものが1問(400字以内)、問題文の読み取りの正確さを問うものが1問でした。
口頭発表	小論文で解答した図解を、1人あたり10分(発表準備2分、発表5分、質疑応答3分)で発表するものでした。
グループディスカッション	『「学ぶこと」と「働くこと」と「地域」との望ましい関係はどのようにしたら築けるか。』というテーマで、地元に残ること/地元を離れることがそれぞれにもっている課題と可能性について、示されたデータに触れながら、受験者全員でグループディスカッションを行いました。その後、グループディスカッションでのやりとりを踏まえながら、1人あたり2分で、各自の考えを述べました。総時間数は90分。
個人面接	4名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。